

アフリカ農村貧困削減対策検討調査（新規）

【210（0）百万円】

対策のポイント

アフリカ農村地域の貧困削減に貢献するため、農業生産に不可欠な土地・水資源の劣化防止のための地域特性に応じた対策や稲作の拡大のための農地・灌漑施設の整備など条件整備について検討します。

（アフリカの貧困削減への貢献）

アフリカでは、3億人以上の人々が貧困状態で生活し、またその数が増加している状況にあり、貧困削減が世界的に大きな課題となっています。貧困削減のためには、まず、安定した食糧生産が必要です。そのために、劣化の進行する土地・水資源について効果的な保全管理対策やアフリカで増加する米の生産拡大のための農地・灌漑施設の整備など稲作生産基盤の条件整備に関する調査を実施することにより、アフリカの貧困削減に貢献します。

政策目標

世界及び我が国の食料需給の将来にわたる安定に資するもの
農林水産行政を推進する中で構築された専門的知見を活用した技術開発、
基礎的調査、技術交流などによる国際貢献

< 内容 >

1．農業生産資源保全管理対策調査

衛星画像や現地調査により農業生産資源（土地・水資源）の劣化状況の把握・分析を行うとともに、保全対策が実施された地域での植生の回復状況などを調査します。

保全すべき地域の優先度や効果的な保全対策技術の地域特性による類型化を検討し、モデル地区での実践を通して、効果的な保全対策の計画策定手法を確立します。

2．稲作推進条件整備調査

稲作栽培に当たっての農地や灌漑施設、水管理体制の整備状況などについて現状を把握し、課題の整理を行います。

稲作の自然・社会環境への影響も配慮した小規模で簡易な条件整備について検討し、モデル地区での実践を通して、稲作普及のための条件整理技術・手法を確立します。

< 事業実施主体等 >

- 1．事業実施主体 民間団体
- 2．補助率 定額
- 3．事業実施期間 平成20年度～平成24年度

[担当課：農村振興局整備部設計課海外土地改良技術室（03-3595-6339（直））]